学校番号	1101

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ソフトウェア活用	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ソフトウェア活用」（実教出版）						
副教材等	「全商ビジネス文書実務検定試験模擬問題集３級」（実教出版） 「全商情報処理検定試験模擬問題集３級」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ソフトウェアを活用するための情報の収集・処理・分析等に関心を持ちましょう。
・ビジネスの諸活動において情報を活用する実践的な態度を養いましょう。
・情報の活用を合理的に経過し、その技術を適切に活用する能力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・積極的に情報を活用するための知識・技術を習得する。
・企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・ソフトウェアの活用に関する課題を発見し、情報の収集・処理・分析をおこなう力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
・企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して、収集・処理・分析・表現に関する基礎的、基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・ビジネスの諸活動において、情報を主体的に活用することを目標として思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	・企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組み、ビジネスの諸活動において、ソフトウェアを活用することを目標として主体的に取り組もうとするとともに、ソフトウェアを活用する実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一章	・情報システムとプログラミング	a:通信ネットワークに関する基本的な用語の意味を理解している。プログラム言語の種類と特徴を理解している。 b:情報化社会の危険性について正しい理解に基づく適切な対策や積極的にこれを克服する方策の考察ができる。情報システムの重要性を理解している。 c:情報通信ネットワークに興味を持ち、その役割や仕組みを積極的に学ぼうとする。プログラミングの手順を意欲的に学ぼうとする。	小テスト	小テスト	ワークシート
	第二章	・ハードウェアとソフトウェア	a:コンピュータ本体や代表的な周辺装置の概要を理解し、ハードウェアの機能と動作を理解している。 b:利用目的に応じた適切なソフトウエアを選択し、データの表現ができる。 c:コンピュータやソフトウェアの体系と役割に興味を持ち、その仕組みを積極的に学ぼうとする。	小テスト	小テスト	小テスト
後期	第三章	・アルゴリズム	a:データ構造と制御構造を理解し、条件判定と繰り返し処理を理解できる。 b:目的に応じて適切な変数・定数と演算処理をデータ処理により表現することができる。 c:配列の利用など、アルゴリズムの表現技法を積極的に学ぶことができる。	小テスト	提出物	提出物
	第四章	・プログラムと情報システムの開発	a:情報システム開発の手法と手順を理解し、プロジェクト管理を理解している。 b:情報システムの評価と改善、手続き型言語をデータ処理にて表現することができる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト	提出物 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度